

集会活動	令和2年度は、始業式や終業式をはじめ、各種の集会活動等をZoomによるオンライン配信で実施
機器	タブレット、大型モニター
使用アプリ	Zoom, ロイロノート
機能等	映像配信, 映像加工

コロナ禍の現在、全校が集まったの集会活動の実施は難しい。そこで、従来の集会は、映像配信へと形式を全面的に変更した。

○実施の流れと児童の様子

- ① 講話等を行うスタジオ教室の撮影用タブレットと、各教室のタブレットをZoomでつなぎ、中継する。
- ② 接続テストの時間を設け、各クラスへの音声や映像等の状況を把握する。
- ③ 各教室のタブレットは聞き手である児童を撮影し、講話等の話し手が反応を確認できるよう大型モニターを設置する。
- ④ 必要に応じてパワーポイント等で作成したスライドを各教室のタブレットに配信して講話の資料とする。

始業式・終業式

校長講話を、スタジオ教室から各教室へZoomで配信し、実施した。校歌は伴奏のみ校内放送で流した。児童は、服装や姿勢を整え、校長の講話にしっかりと耳を傾けることができた。



<スタジオ教室での校長講話>



<教室で講話に耳を傾ける児童>

学年朝会

これまで学年朝会では、学年主任や学年担当者からの講話をしたり、クラスの代表児童が学年全体で楽しめるレクを企画したりしてきた。Zoomで配信することで、児童はこれまで同様の一体感を感じることができた。



<スタジオ教室でジャンケン>



<教室でのジャンケン大会>

児童朝会

児童朝会では、これまで専門委員会が体育館ステージにて発表や連絡を行っていた。しかし、例年同様の集会は実施できないため、児童会が主体となり、自分たちのクラスの「手本の姿」を写真に撮って紹介したり、投稿された他のクラスの写真を見たりして、今後の自分たちのクラスの目指す姿を話し合うという企画を校内に呼び掛けた。各クラスでは、ロイロノートで「手本の姿」を撮影し、その写真に紹介メッセージを録音した。それらを児童会の担当者が集約し、校内で視聴する機会を作った。



<クラスで長縄に取り組む5年生>



<完食に誇らしげな1年生>

